

編集 後記

公衆衛生分野では統計学の基本的知識とコンピューターによるデータ処理・統計学的検討は必須であり、本号ではSAS（Cox比例ハザードモデルなど）とSPSS（Fisherの直接確率計算法、多重ロジスティック分析、U検定など）が用いられています。20年前と比較すると統計学の理論とコンピューターの進歩に驚かされます。

また、一般に類似のテーマであっても質的研究を行うと興味ある結果が得られる調査研究もあります。コンピューターを用いて質的研究データを容易に解析する手段の一層の普及・発展が期待されています。

生活習慣病や高齢者QOL維持などの関連要因について本号で取り上げられているような検討が大切であることはいうまでもありませんが、新しい検査項目・新しい調査項目を加えられるかどうかを常に意識していくことが求められている時代となっているといえましょう。

メタ・アナリシスについては比較的容易に計算できるようになってきましたが、できるだけ多くの公衆衛生分野の研究者にその基本的概念・概要を知っていただくことも必要と思われる。

本号の内容をみながら本誌の発展・公衆衛生学の発展と関連して思いめぐらしたことを記しました。

（青木伸雄）

次号予告

原著

医療事故に関する文献的考察と日刊新聞報道との比較

一 本邦の医学文献および日刊新聞のデータベースからの検討……………藤原奈佳子, 他
 関東都市部における1歳6か月から3歳時にかけてのう蝕発生と授乳状況ならびに関連する要因の検討……………溝口恭子, 他
 横浜市における救急医療の需要分析……………大重賢治, 他

資料

女子大学生の排便およびその日間変動 第2報
 排便量に関連する要因……………坂田由紀子, 他
 市町村の母子保健計画の策定プロセスと策定後の変化……………藤内修二, 他
 聴覚障害者を対象とした健康診断の受診に関する不便さ調査……………高橋英孝, 他

会員の声

受胎待ち時間調査法の独創性について……………古田真司, 他

第68回日本民族衛生学会のご案内

会 長：二塚 信（熊本大学大学院医学薬学研究部 公衆衛生・医療科学分野）

会 期：平成15年11月27日（木）、28日（金）

会 場：熊本市市民会館（熊本市桜町1-3）

プログラム概要

【特別講演】 山本研一（熊本大学副学長）

演題「環境と遺伝」

【学会長講演】 二塚 信（熊本大学大学院教授）

演題「メチル水銀汚染地域住民の追跡調査」

【シンポジウム】 座長 大塚柳太郎（東京大学大学院教授）

テーマ「国際保健における行動研究の意義」

【一般演題】

参加費

早期登録 6,000円（講演集を含む）平成15年7月31日まで

通常登録 7,000円（講演集を含む）平成15年10月1日まで

懇親会費 6,000円

記念写真代 1,500円

問い合わせ先

熊本大学大学院医学薬学研究部 公衆衛生・医療科学分野

〒860-8556 熊本市本荘1-1-1 TEL：096-373-5112 FAX：096-373-5113

北野隆雄